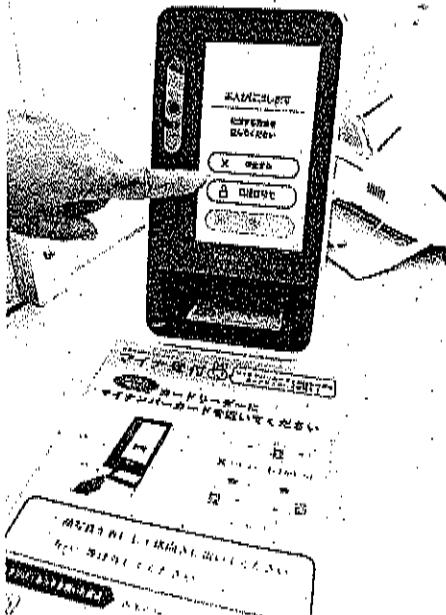


マイナ保険証

マイナンバーカードと一緒に「マイナ保険証」を巡り、福井県内の医療機関でもトラブルが相次いでいる。患者の保険加入情報がカードに正確に反映されており、「無保険扱い」で一時的に医療費の10割負担を求められたりといった事例もあった。政府は来年秋に現行の保険証を廃止してマイナ保険証一本化する方針。県内の開業医は「便利にならないのか、確認など負担が増している。現場に配慮して重に対応を進めてほしい」と訴える。(川喜平)

無保険扱い 県内でも



マイナ保険証の読み取り機器。
県内の医療機関でもトラブルが
相次いでいる

現場、確認で負担

「便利どころか…」

県労働省は、マイナ保険証に不具合があるとしても、当面は患者の自己負担を本来求めない割分として、初めてマイナ保険証で受診する際や加入する保険の変更後は、従来の保険証も持参するよう呼びかけるなどの対策を示している。

厚生労働省によると、マイナ保険証に対する疑義は、県内医療機関では1010機関(6月18日現在)あり、全体の88.2%が該当だ。割合は都道府県別で順位、高崎市山形に次いで4番目に高い。読み取り機器の申し込み状況は94.9%となっており、JR東日本では今年5月、国民健康保険から社会保険に変更した患者を受け付けた際、マイナ保険証に変更が反映されていなかった。患者は現行の保険証を持参しておらず、一時的に10割負担を求めた。クリ

マイナ保険証の担当者は「マイナ保険証の情報更新が遅れるケースが多く、確認作業に時間がかかる」と指摘する。一方のクリニックは、4月に医療機関のマイナ保険証対応が原則義務化された場合、読み取り機器を導入した。マイナ保険証の読み取りにも手間取り機器を導入した。マイナ保険証の利用は患者全体の5%程度だが、住所の一部が抜け落ちていたり、氏名のふりがなが間違っていたりと、細かな不備が多い」という。

昨年4月からのマイナ保険証に相応じて、福井市の中規模病院江市のクリニックでは今年5月、国民健康保険から社会保険に変更した患者を受け付けた際、マイナ保険証に変更が反映されていなかった。患者は現行の保険証を持参しておらず、一時的に10割負担を求めた。クリ

県労働省は、マイナ保険証に不具合があるとしても、当面は患者の自己負担を本来求めない割分として、初めてマイナ保険証で受診する際や加入する保険の変更後は、従来の保険証も持参するよう呼びかけるなどの対策を示している。

県保健医協会の津田武嗣会長は「マイナ保険証は薬の処方や特定健診などの履歴が分かる便利面もあるが、情報の反映にタイムラグがあるなど課題は山積み。運用は慎重にしていくべきだ」と話している。